

社長メッセージ

2023年12月
株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ
取締役社長 加藤 貞則



持株会社体制移行、 1年が経過して

2022年10月に持株会社体制へ移行して、1年が経過しました。本体制への移行を見据えて、当社ではお客さまの多様化・複雑化するニーズにお応えするためのソリューション体制を整えてまいりました。地域商社の「㈱せとのわ」をはじめ、投資専門子会社の「㈱ちゅうぎんキャピタルパートナーズ」、人材サービスを提供する「㈱ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ」、DXやSXのコンサルティングサービスを提供する「㈱Cキューブ・コンサルティング」、そして地域エネルギー会社である「㈱ちゅうぎんエネルギー」などを設立してまいりました。これまでの銀行を中心とした体制から持株会社体制となることで、お客さまへより付加価値の高いサービスが提供できるようになりました。このような業務軸の拡大は、自治体等とのパートナーシップにも発展し、地域に新たな価値を提供しています。

また、社内においても多様な感性に裏付けられた価値観が醸成され、社内ベンチャー制度である「ちゅうぎんオープンラボ」からさまざまな事業アイデアが生まれるなど、社内外において好循環を生み出しています。

中期経営計画 「未来共創プラン ステージⅢ」スタート

構造改革、ハード面の強化に重点を置いた「ステージⅠ」、行動改革、ソフト面の強化に重点を置いた「ステージⅡ」を受けて、成果発揮と新たな挑戦を目指す2023年度からの「ステージⅢ」がスタートしています。

「ステージⅢ」の“成果発揮”とは、2017年度に始まった長期経営計画の最終ステージとして、これまでの改革を土台に計画目標を達成することであり、“新たな挑戦”は、ちゅうぎんフィナンシャルグループの初めての中期経営計画として次の10年に向けた新たな挑戦の始まりという位置付けです。

「ステージⅢ」を着実に実行していくために6つの重点課題「地域経済・社会の活性化」「少子高齢化社会への対応」「DXの推進」「多様な人財の活躍推進」「環境経営の促進」「ガバナンスの高度化」を定め、それを具体化させる取組みとして3つの成長戦略「地方創生SDGsの『深化』」「イノベーションの創出」「グループ経営基盤の強化」を策定しました。出資や伴走支援、コンサルティングなどとともに効率化、合理化により捻出した人財への投資、ダイバーシティ&インクルージョンへ積極的に取り組むことで“成果発揮”と“新たな挑戦”を実現してまいります。

ちゅうぎんグループが 目指す未来

ちゅうぎんフィナンシャルグループと13のグループ会社から成るちゅうぎんグループでは、2026年度の中期経営計画の最終年度に加え、その先の2030年もターゲットとして捉えています。2030年は国連が定めるSDGsの達成年であること、ちゅうぎんグループのカーボンニュートラルの達成年であること、また中国銀行の設立100周年にあたります。

地域の脱炭素化、DX、SX、ダイバーシティ&インクルージョン、事業承継、産業振興などさまざまな課題が地域には山積しています。これらの課題に対しちゅうぎんグループでは、2030年までに地域を面で捉えた取組みの拡大や地域同士のシナジーを生み出し「地域トランスフォーメーション」を起こしていきたいと考えています。ちゅうぎんグループの取組みが地域の持続的な発展、豊かな未来につながり、安全・安心して生活できる、人々が住みたい、集まりたい地域の形成への一助になればと思っています。

これからも挑戦を続けるちゅうぎんグループをどうぞよろしくお願いたします。